

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

～地域の子どもは、地域が育てる～

コミュニティスクールは、保護者、地域の皆さんと本校の「学校づくりビジョン」を共有し、力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みです。

コミュニティスクールでは、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となって小規模校ならではの学校づくりを進めることで、教育目標である「あなたらしく、あなたらしく」の実現を図ることをねらいとしています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

本校の運営協議会は、今年5年目を迎える年間5回の会議が持たれました。一小一中で成り立つ橋北地区の現状や、小規模校ならではの利点をいかに活かしながら学校・地域・家庭が連携していけるのかという視点を大切にしながら、地域の様々な立場の方に委員となつていただき貴重なご意見を頂くことができました。



本年度においては、昨年度発足した中学校の防災部が、地域防災活動やイベントに関わる機会が増え、本格的に地域と連携した活動が始まりました。それらの防災活動に、防災部の生徒はお手伝いや参加するだけでなく、地域防災関係者の方々からアドバイスをもらいながら、自分たちで企画立案し運営を行うなど、地域防災に参画する活動を行いました。また、コミュニティスクール委員と生徒が繋がり、地域の橋北ごちゃまぜ祭りの企画にもアイデアを出し運営に携わったり、総合的な学習の時間の発表や体育祭、文化祭などの行事を地域の方に参観してもらったり、学校から地域への発信を行い地域と繋がっていく交流や参観の機会を多くもつことができました。

(1) 教育活動の実践事例

【職場体験学習への協力】

5月の2年生の職場体験において、地元での職場体験学習受入事業所の紹介をお願いしました。子どもの数が減ってきている今だからこそ、今後、



郷土を誇りに思い、地元を愛する子どもが育つよう、萬古焼製造や高齢者施設など地域に根差した産業を軸に置いた、新たな受け入れ先の開拓にご協力いただきました。

【人事院で働く本校のOBを訪問する修学旅行】

5月、修学旅行で、人事院で働く本校OBの村山さんを訪問し、村山さんの生き方から学ぶキャリア教育(Polaris)を行いました。この訪問は、コミュニティスクールを窓口に関元村山議員を通して、御子息の人事院で働く村山さんとアポをとり実現しました。



【防災部と地域防災関係団体とが連携した橋北中防災学習】

6月、土曜授業で防災学習を行いました。昨年度までとちがい、地域の防災関係団体の方々にお任せではなく、4月と5月に1回ずつ橋北地区防災組織連絡協議会とのミーティングをもち、自分たちがやってみたいことや興味のあることを要望しながら、防災部の生徒が中心となってグループ討議を進めたり、非常食の炊き出しを行ったりしました。防災部の生徒が地域の方々と連携しながら、主体的に活動する学習の場になりました。



その後も、月1～2回のミーティングを重ねながら、11月の橋北小学校での防災学習、1月のこども子育て交流プラザでの防災イベント、3月の三滝公園での橋北消防フェスタに、企画立案の段階から参加し、地域防災関係団体の方々からアドバイスをもらいながら、運営に携わることができました。



1月こども子育て交流プラザでの防災イベント



3月三滝公園での橋北消防フェスタ 2025

【地域の方にも発信した全校 Polaris】

7月、橋北交流会館で、各学年の総合的な学習の時間に取り組みの発表と全校でのキャリア学習の様子を、各町の自治会長をはじめ地域の方々、職場体験の事業所の方々に参観していただきました。また、オンラインで、橋北小学校の6年生にも視聴してもらいました。1年生は自然教室、2年生は職業体験、3年生は修学旅行で学んだことを中心に発信しました。

コミュニティスクールを通して各自治会に呼びかけたこともあり、多くの地域の方々に参観していただき、好評をいただきました。



【橋北小の児童や地域の方が参加した体育祭】

本年度、10月の体育祭では、生徒会が中心となって、地域の方や橋北小学校の6年生の児童と一緒に参加できる種目を企画・立案し、参加してもらいました。生徒会創生種目には、中学生と小学生と一緒に参加し、3つのチームで競い合いました。また、地域や保護者の方には、綱引きと一緒に入っていただきました。また、体育祭前に、コミュニティスクールの提案により、PTAと地域がタイアップして、グラウンドの除草作業を実施することができました。まさに小規模校の強みと、地域とともにある学校の良さが発揮された行事になりました。



小学生と一緒に競技をする中学生



地域の方や保護者も参加する綱引き

【地元 OB 洋画家による授業】

昨年度に引き続き、コミュニティスクール委員長であり、橋北地区連合自治会長の山内満さんの御子息である橋北中 OB の洋画家山内大介さんをゲストティーチャーに招き、3日間で6時間分の美術の授業で指導をしていただきました。美術の実技指導だけでなく、山内さんの生き方や考え方などから学ぶからキャリア教育（Polaris）にもなりました。出来上がった作品は、文化祭と橋北ごちゃまぜ祭りで展示を行い、地域の方にも見ていただきました。



10月美術の授業での指導風景



「中日新聞」2024年10月25日朝刊16面

【民生委員や地元老人福祉施設との連携による認知症サポーター授業】

11月、民生委員の方や地元老人福祉施設の方々に来ていただき、橋北地区の高齢者の方たちと関わる機会をつくっていただきました。一緒にゲームや切り絵などをする中で、高齢者についての理解を深めつつ、認知症の正しい知識と理解を深めて、みんなで支え合いながら生きていくことが必要であることを学びました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールの取組による全体への効果としては以下の通りです。

本年度は小規模校の強みを生かした、地域との連携を密にした取り組みが多かったこともあり、コミュニティスクール委員の方々に、地域の自治会、社協、民生、防連など各関係団体と学校とをつないでいただく役割を果たしていただきました。

例えば、体育祭前のグラウンドの草取りでは、コミュニティスクール委員の方々に地域自治会への呼びかけをしていただいたり、参加した小学生や中学生のために民生委員の方がかき氷や綿あめをつくっていただいたり、社協から音響セットをお借りしたりして、草取りに協力してもらいました。また、今年度は、4月当初から防災部が本格始動できたこともあり、年度当初から月に1回ペースで、防連の方々と防災部とのミーティングを重ねながら、生徒が地域の防災に関わる機会を増やしていきました。そのような動きから、コミュニティスクール委員である、こども子育て交流プラザの長谷川さんから、「こども子育て交流プラザで防災イベントをしたいので、ぜひ防災部に協力して欲しい。」との要望もあり、新しい地域のイベントに、防災部の生徒が企画立案運営を行う、主体的な活動として参加することができました。

また、逆に、民生や社協のイベントに子どもたちを参加させて欲しいという声もあり、ボランティアとして有志の生徒が、民生の餅つきに参加したり、社協のごちゃま

ぜ祭りに関わったりするなど、中学校が地域の要望に応じていく場面も多くありました。

コミュニティスクール委員の方からは、本年度の地域と連携した取組については、成果しかないと言われるほど好評をいただき、生徒の地域の一員としての役割の自覚と地域貢献に繋がるというご意見をいただきました。

3 今後に向けて

本年度も、コミュニティスクールの協力のもと、子どもたちの教育活動を充実させることができ、一定の成果を得ることができました。防災部については、地域防災団体からの要望に応えつつ、各種防災イベントなどで、生徒が主体的に企画立案に携わり、運営を行う機会も増えました。しかしながら、こういったイベント的な活動だけでなく、自発的に地域の防災の課題に目を向け、それを自分たちで改善していける活動をしていくことで、本当の意味での防災部の活動になるのではと思う。また、認知症サポーター授業を行った際、民生の方や地元の老人福祉施設の方々とも関りをもったが、それだけでなく、困っているお年寄りがいないか、またその困り感を解決に導くような方法はないか仲間と考えていけるような活動を、コミュニティスクールの委員の方々に協力していただいたり、アドバイスをいただいたりしながら行っていく必要があるのではと感じる。

その場限りの学習、イベントに向けての活動ではなく、日々の生活から問題を見出し、自分たちで解決する方法を考え、自らの問題として地域に関わることができる生徒の育成をしていきたいと考えています。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 橋 北 中学校

委員長 山 内 満

校 長 丹 羽 浩 也

月	協議会の開催	活 動 内 容
4	橋北地区防災組織連絡協議会 (19 日)	・ 橋北中学校防災体験学習に関する打ち合わせ ・ 防災部ミーティング (24 日)
5	第1回運営協議会 (13 日) 防連事務局会議 (14 日)	・ 委員の委嘱 委員長選出 ・ 本年度の活動方針について ・ 令和6年度 学校づくりビジョンについて ・ 4月の学校・生徒の様子について ・ 年間行事予定について ・ 橋北中学校防災体験学習について ・ 修学旅行で本校OBの働く人事院を訪問 (16 日) ・ 地域事業所の協力による職場体験学習 (22～24 日) ・ 防災部ミーティング (30 日) ・ 洋画家山内さん寄贈絵画除幕式 (31 日)
6		・ 防連・市民防と防災部との連携による防災教室 (8 日)
7	第2回運営協議会 (9 日)	・ 1学期の様子 (自然教室・防災教室・職業体験) ・ 全校キャリア学習について ・ 環境整備 (グラウンドの除草作業) について ・ 全校Polaris 発表会 (18 日)
8		
9		・ 橋北中グラウンド除草作業協力 (8 日) ・ 防災部ミーティング (24 日)
10	第3回運営協議会 (8 日)	・ 橋北地区防災訓練 (6 日) ・ 体育祭参観・参加 (7 日) ・ 授業参観 ・ 2学期前半の学校・生徒の様子 ・ 学校指定物品の価格の是正及びその取り組み ・ 山内画伯によるワークショップ (21～23 日) ・ 防災部ミーティング (28 日)

11		・文化祭参観（1日） ・橋北ごちやませ祭りボランティアに参加（3日） ・橋北小学校防災学習に防災部参加（9日） ・認知症サポーター授業（28日） ・防災部ミーティング（28日）
12	第4回運営協議会（9日）	・文化祭の報告 ・学校評価アンケートの評価項目について ・学校指定物品について ・中学校と地域の連携の在り方について ・卒業式の取り組みについて ・生徒会との交流 ・地域ゲストティーチャーによる飾り巻き寿司実演 1年生家庭科（13日） ・防災部ミーティング（13日）
1		・防災部ミーティング（14日） ・音楽部橋北地区ふれあいコンサート参加（18日） ・こども子育て交流プラザ防災イベント（19日）
2	第5回運営協議会（20日）	・防災部ミーティング（5日） ・3学期の学校の様子と卒業式について ・学校評価アンケート分析結果の講評 ・次年度ビジョンと年間計画について ・PTA加入問題について ・年間取組の振り返り（課題と成果）と次年度の活動について ・次年度コミュニティスクール委員構成について ・防災部ミーティング（27日）
3		・橋北消防フェスタに防災部参加（2日） ・卒業式参列（6日） ・防災部ミーティング（日程未定）